

中学校区テーマ…人権をたいせつにしあう明るい地域－琴浦－

重点課題…元気で明るい子どもを育てよう



令和7年度  
琴浦中学校区人権学習推進委員会  
研修視察  
令和7年8月29日（金）9:20～16:20  
視察先：井原市立平櫛田中美術館  
井原市文化財センター古代まほろば館



＜研修視察内容＞  
平櫛田中美術館では、井原市出身の近代彫刻界の巨匠平櫛田中の作品を見学しました。近代日本を代表する木彫りの作品や「今やらねば、いつできる」などの書が展示されており、平櫛田中の生き様や思いを感じることができました。また、古代まほろば館の見学では、井原市内の考古資料に触れ、文化財に対する興味と理解を深めることができました。

## 参加者の感想

平櫛田中の作品からは、人間一人ひとりの尊厳や生きる力を感じた。また、平櫛田中の生き様や思いは人が人として生きる事の大切さを改めて考えることができ、「今やらねば、いつできる」の言葉は自分自身に問いかけるとてもよい機会にもなった。

## 参加者の感想

文化財センター古代まほろば館での研修を通して、井原市内に所在する埋蔵文化財から感じた先人の思いは、人権の確立に通じる所があり、貴重な体験をすることができた。またこの先人の歩みは未来に語り継ぐことがとても大切であると強く感じた。



## 私の思う人権とは

琴浦中学校長 岩久保 高之



最近、報道番組等で憲法についてよく議論されているのを見聞きします。それらを視聴して、改めて基本的人権について考えるきっかけになりました。私が思う基本的人権とは、それが保障されていなければ、人として幸せに、安心して暮らすことができなくなるものだと思います。基本的人権とは、特別な権利というよりは、すべての人々が生まれながらにして等しくもつべき普遍的な権利だと思います。私たちは、自分の思いや考えを口にすることができます。自分の意志で結婚することができます。なりた職業を目指すことができ、好きな所で暮らすことができます。これらのことは、基本的人権が保障されている日本では当たり前のことです。当たり前すぎて、空気のように特別に意識していないかもしれません。しかし、当たり前だからこそ、無くなってしまうと取り返しのつかないことになってしまうのです。そうならないためにも、細かく憲法で守られる必要があると思います。今後、様々な人々が様々な考えを述べるとはいますが、無くなってはいけない部分のことを、どのように考えているのかをしっかりと聞いていきたいと思っています。

基本的人権の中に、人々が自由に移動する権利として「交通権」という考えがあります。快適な移動が権利として保障される反面、頻発する交通事故により、私たちは人権侵害の加害者にも被害者にもなり得ます。特に、中学生には自転車の乗り方について、しっかりと考えてもらいたいと思っています。そこで、生徒会が1学期の終業式にプレゼンテーションソフトを活用して（下図参照）全校生徒に安全な自転車の乗り方について訴えかけました。自分事として考え、実行してもらいたいと切に願っています。



自転車通学のきまり その5

**飛び出さない！**

- ・歩行者と衝突すると大事故に発展してしまう。
- ・ブレーキがきちんと効くか確認することが大切。

**★一旦停止の徹底をしよう！**

自転車通学のきまり その6

**急な坂は自転車を押して下る！**

- ・学校付近の坂はとても急なため車と衝突する可能性が高い。

**★学校付近の坂でなくても、注意して下ろう！**





# 琴浦中認定こども園の取組

## 日常に防災を 地域とともに

近年、南海トラフ地震が発生する確率が上がり、いつ起こっても不思議ではない状況です。琴浦中認定こども園では、日常の遊びの中に防災教育を取り入れ、楽しみながら行っています。生活の中に防災を取り入れることで自然と意識が高まります。身を守るすべを知ることで生きる力を養えます。

また地域の方々と協力して防災活動に取り組んでいます。いざというときに近くにいる大人と一緒に自分の命を守れる子になってほしいと願っています。

子どもたちが幸せで安心して過ごせるようにしたいと思います。



### 令和7年度 琴浦中学校区人権学習推進委員（敬称略）

役職	氏 名	役職	氏 名	役職	氏 名
会長	藤井 昭佐	委員	国重 康夫	委員	幸田 正美
副会長	○ 木山恵里子	//	杉本 哲也	//	黒川 美紀
//	○ 伊藤 志帆	//	堤 由隆	//	○ 三竿 千春
//	○ 今瀧久美子	//	柳谷 正一	事務局長	三崎伸一郎
//	向井のぞみ	//	下畠 重春	事務局次長	田尾 和彦
監査	内田 浩二	//	貞森 勝一	事務局員	岡村 克巳
//	○ 鈴木 京子	//	沖 靖	//	松本 光一
委員	安倉 宏明	//	○ 清板 祝士	//	○ 糸島 慎昌
//	山坂 敏美	//	高見 晴寿	//	熊城 幸二
//	○ 佐藤有希子	//	岩久保高之	//	○ 澤井 果歩
//	黒明賀洋子	//	○ 大知 誠治	庶務・会計	斉藤 弥香
//	黒杉唯紀子	//	大森 輝彦	//	高月 菜緒
//	田中 清子	//	○ 橋本 博和	庶務	松本 早苗
//	濱田いづみ	//	○ 百田 京子	//	○ 竹村 真子
//	角南 英子	//	千田 浩子	○は新任	
//	○ 川崎 優紀	//	外林 有美		

# 令和7年度 人権教育講演会

## 唐琴公民館

令和7年6月24日（火）  
演題：「特殊詐欺被害防止について」  
講師：児島警察署生活安全課 課長 藤原 真人 先生



＜講演内容＞  
とても分かりやすいクイズ形式の資料をたくさん用意していただき特殊詐欺被害防止について、深く考えるよい機会になりました。また、先生のお話から周りの人との相談、コミュニケーションの大切さも教えていただきました。

### 参加者の感想

私は、だまされることはないと自負していましたが、高齢になると気持ち的に弱くなり、不安になります。詐欺師の手口も巧妙になり、繰り返し、このような話を聞く機会があると改めて防犯意識が高まり、よいと思いました。



### 参加者の感想

とても楽しく、ためになるお話を聞かせていただきました。その時は、理解した気分ですが、さて帰ったらどうでしょうか。でも、顔を見て話していただけたので心に残っていると思います。クイズは全問正解。自分でもびっくりでした。

## 琴浦公民館

令和7年9月27日（土）  
演題：「手話と私 ～たくさんのありがとうを込めて～」  
講師：厚生労働大臣公認手話通訳士 井上 宏美 先生



＜講演内容＞  
先生の幼少期から現在までの貴重な体験をととても分かりやすく話してくださいました。「手話には、心と心を通わせる魅力がある。」「手話を使うことを、その人の個性ととらえる社会でありたい。」など心に響く言葉がたくさんありました。

### 参加者の感想

手話ができなくても、伝える気持ちがあれば十分です。南海トラフ地震が何年後かに起こるかも知れないので、少しでも耳の不自由な人に声を掛けてくださればうれしいです。障がいの有無に限らず、同じ人権ですので。

### 参加者の感想

井上先生のご自身の体験談をいろいろ話してくださいました。先生自身の辛かった話も、ポジティブな雰囲気の中で話され、私は時々泣きそうになりました。「地域共生社会の実現」と言いますが、一番大切なのは人々の心を豊かにしていくことだと思っています。障がいのある人に対して、関わりたくないという態度をとるのではなく、社会に自然に入り込める世の中になったらいいと思いました。

